

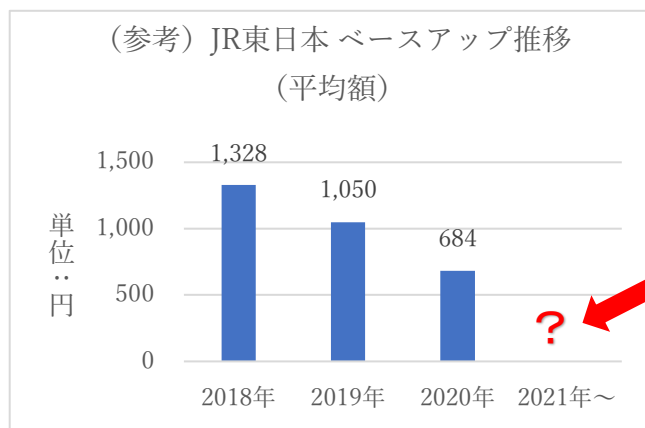


従来のベースアップが無くなる??

トヨタ自動車グループの314労働組合でつくる全トヨタ労働組合連合会は12月18日、2021年の春闘について、基本給を底上げするベースアップ(ベア)の要求を目安額の提示をやめることを決めました。コロナ禍により、業績が悪化する企業も出ており、ベアを要求しない労働組合も出てくることが予想されます。今回、統一的な要求水準(前回までは月3,000円以上などとベアの要求水準の目安を提示していた)をなくすことで、加盟単組がそれぞれ「目指すべき賃金」を設定し、要求するように促すといいます。(朝日新聞 2020年12月19日より)

トヨタのベースアップの目標額の提示をやめることにより、トヨタ以外の労働組合において、従来のベースアップが無くなることも予想されます。

コロナ禍の状況の中、避けられない部分もありますが、アフターコロナで各企業の業績が改善した際に、従来のベースアップ要求が無くなっていくのではないかとということも今後、注視していく必要があります。



従来のベースアップが
無くなる？



コロナ禍をきっかけにした会社からの不利益な賃金体系に
しない状況をつくっていきましょう！

